

令和6年度

肢体不自由教育部門

小学部

第3学年

⑧学習グループ

年間指導計画

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門)年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	国語		学習グループ名	小⑩	
目標・ねらい	(1)日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (2)筋道立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 (3)言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	三好亮子				
年間授業時数	245.5 単位時間				
使用教科書	あたらしい こくご 三上・下 東京書籍				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	あなたのこと、教えて	2	○友達に、好きなことや得意なことを質問する。 ◆相手のことを知るために、質問しながら話し合うことができる。		(1) 日常の言語活動を振り返ることなどを通して、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする場面を意識できるようにする。 (2) 理解したり表現したりするために必要な語句を辞書などを利用して調べる活動を定期的に取り入れる。 (3) 情報機器や学校図書館を積極的に活用する機会を設ける。
	音読を聞き合おう すいせんのラップ	6	○人物の様子を想像して、音読の仕方を考え、音読発表会をする。 ◆場面や人物の様子を想像し、音読で表すことができる。		
	漢字を使おう 1	1	○絵の中の言葉を使って、文を書く。 ◆2年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
	図書館へ行こう	2	○本の探し方や日本十進分類法について理解する。 ◆図書館での資料の探し方を理解し、図書館を活用できる。		
	国語じてんの使い方	4	○国語辞典の使い方を理解し、言葉を調べる。 ◆国語辞典の仕組みや使い方を理解し、活用することができる。		
	メモを取りながら話を聞こう	4	○働く人の話を聞き、メモを取る。 ◆大事なことを落とさず、話を聞いてメモを取ることができる。		
	読んで考えたことをつたえ合おう 「自然のかくし絵」	10	○段落ごとの内容をとらえながら読む。 ◆段落の内容を確かめ、文章の内容をとらえることができる。		
5	漢字を使おう 2	1	○絵の中の言葉を使って、文を書く。 ◆2年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
	じょうほうのとびら 全体と中心	4	○伝えたいことの中心を考えながら、文章を書く。 ◆情報の全体と中心について理解し、文章を書くことができる。		
	「わたし」の説明文を書こう	12	○自分のことを説明する文章を書き、読み合う。 ◆伝えたいことの中心を明らかにし、説明文を書くことができる。		
	漢字の表す意味	2	○いくつかの漢字について、どのような意味を持っているか考える。 ◆複数の意味を持つ漢字があることを知り、意味の違いを理解する。		
6	物語をみじかくまとめてみようか いしよ ワニのおじいさんのたから物	8.5	○出来事や登場人物の性格について考え、紹介カードを書く。 ◆物語の内容を短くまとめて紹介カードを作ることができる。		
	漢字を使おう 3	1	○絵の中の言葉を使って、文を書く。 ◆2年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。		
	人物やものの様子を表す言葉	2	○様子を表す言葉をくらべ、意味の違いを考えて文を作る。 ◆意図に合った言葉を選んで文を書くことができる。		
7	心が動いたことを詩で表そう	8	○言葉を集めて詩を書き、読み合う。 ◆表現を工夫しながら、詩を作ることができる。		
	ローマ字①	4	○書き方の原則を理解し、身の回りのものをローマ字で書く。 ◆ローマ字で書かれた単語を読んだり、書いたりすることができる。		
	書き手のくふうを考えよう 「給食だより」を読みくらべよう	10	○二つの文章を読み比べ、どのような工夫をしているのか考える。 ◆伝えたいことを上手く伝えるための書き手の工夫を考える。		
	三年生の本だな 一心の養分	4	○自分が興味を持った本や読んだことのない本を探して読む。 ◆読書に親しみ、自分の興味に応じた本を選んで読むことができる。		
9	詩を読もう 紙ひこうき 夕日がせなかをおしてくる	2	○詩の構成や表現に着目し、様子や心情について話し合う。 ◆場面の様子や人物の気持ちなどを具体的に想像することができる。		
	案内の手紙を書こう	7	○手紙に書くことを確かめ、行事を案内する手紙を書く。 ◆だいたいなことを手紙で伝えることができる。		
	慣用句を使おう	4	○慣用句の意味を国語辞典で調べ、文を作る。 ◆慣用句の意味や使い方を調べ、文を書くことができる。		
	グループの合い言葉をきめよう	8	○司会の進行にそってグループで話し合い、考えをまとめる。 ◆グループで話し合い、来月の合い言葉を決めることができる。		

9	漢字を使おう 4	1	○絵の中の言葉を使って、文を書く。 ◆2年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。	(1) 日常の言語活動を振り返ることなどを通して、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする場面を意識できるようにする。 (2) 理解したり表現したりするために必要な語句を辞書などを利用して調べる活動を定期的に取り入れる。 (3) 情報機器や学校図書館を積極的に活用する機会を設ける。
	主語とじゅつ語、つながってる？	4	○主語と述語が適切につながるように文を書く。 ◆主語と述語の関係を理解し、適切な文を書くことができる。	
10	中心人物について考えたことをまとめよう サーカスのライオン	10	○中心人物について考えたことを文章にまとめ、伝え合う。 ◆中心人物の行動や気持ちを考え、伝え合うことができる。	
	漢字を使おう 5	1	○絵の中の言葉を使って、文を書く。 ◆2年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。	
	きょうみを持ったことをしようか いしよ せつちやくざいの今と昔	10	○興味を持った内容を要約し、感想を伝え合う。 ◆伝えたいことの中心がわかるよう要約して紹介することができる。	
	じょうほうのとびら 分ける	4	○グループで出し合ったことを分類して整理する。 ◆情報を分かりやすく分類し、整理することができる。	
11	道具のひみつをつたえよう	10	○調べたことを整理し、レポートを書く。 ◆調べたことを整理しながら、レポートを書くことができる。	
	こそあど言葉	4	○こそあど言葉を正しく選んで、描いたり話したりする。 ◆こそあど言葉について理解することができる。	
	こそあど言葉について理解することができる。	6	○組み立てを考えながら、自分のことについて話す。 ◆話の中心をはっきりさせ、好きな時間について話すことができる。	
	漢字の読み方	4	○漢字の音や訓を見分けたり、正しい送り仮名を付けたりする。 ◆漢字の音や訓、送り仮名について理解することができる。	
	ローマ字②	2	○さまざまな言葉や短い文を入力して漢字や片仮名に変換する。 ◆ローマ字を使ったコンピューター入力を理解することができる。	
12	想ぞうしたことをつたえ合おう モチモチの木	12	○登場人物について想像したことを伝え合う。 ◆地の文や会話文から想像したことを伝え合うことができる。	
	漢字を使おう 6	1	○絵の中の言葉を使って、文を書く。 ◆2年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。	
	人物の気持ちを表す言葉	4	○気持ちを表す言葉を集めたり、文を書いたりする。 ◆意図に合った言葉を選んで文を書くことができる。	
	いろいろなつたえ方	4	○手話や点字、ピクトグラムなどによる伝達方法を理解する。 ◆いろいろな伝達方法について、考えたことを書くことができる。	
	本から発見したことをつたえ合おう	4	○ノンフィクションや図鑑などを読み、分かったことを紹介する。 ◆幅広く読書に親しむことができる。	
	漢字を使おう 7	1	○絵の中の言葉を使って、文を書く。 ◆2年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。	
1	俳句に親しもう	5	○俳句の決まりについて知り、読んだり書いたりして親しむ。 ◆俳句の言葉の響きやリズムに親しみ、首読や暗唱ができる。	
	生き物についての考えを深めよう カミツキガメは悪者か	10	○筆者の考えを捉え、生きものについて考えたことを伝え合う。 ◆筆者の考えや理由を読み、考えたことを伝え合うことができる。	
	漢字を使おう 8	1	○絵の中の言葉を使って、文を書く。 ◆2年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。	
	じょうほうのとびら 考えと理由	2	○考えと理由のつながりが分かるように文章を書く。 ◆考えと理由について理解し、文や文章を書くことができる。	
	クラスの思い出作りのために	8	○自分の考えと理由を明らかにして文を書き、読み合う。 ◆自分の考えと理由を明らかにして、文章を書くことができる。	
2	道具のうつりかわりを説明しよう	10	○調べたことを整理して、説明する。 ◆話の組み立てを工夫して、調べたことを説明することができる。	
	漢字を使おう 9	1	○絵の中の言葉を使って、文を書く。 ◆2年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。	
	くわしく表す言葉	2	○詳しく表す言葉について理解し、文を書く。 ◆文中の詳しく表す言葉を捉えることができる。	
	物語のしかけのおもしろさをつたえ合おう ゆうすげ村の小さな旅館ーウサギのダイコン	9	○物語の仕掛けについて考えたことをつたえ合う。 ◆物語で起きた出来事をつながりを考えることができる。	
3	漢字を使おう 10	1	○絵の中の言葉を使って、文を書く。 ◆2年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。	
	漢字の組み立てと意味	2	○漢字の構成を理解し、部首の意味について考える。 ◆漢字の構成を理解することができる。	
	わたしのベストブック	6	○文章を読み合い、「わたしのベストブック」にまとめる。 ◆文章のよさをつたえ合いながら、作品を作ることができる。	

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	社会		学習グループ名	小③	
目標・ねらい	<p>(1)身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けての社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。</p> <p>(3)社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。</p>				
担当教職員 *学校介護職員	三好亮子				
年間授業時数	72.5 単位時間				
使用教科書	新編 新しい社会3 東京書籍				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4 5	1 わたしのまち みんなのまち	16	○学校のまわり 市の様子 ◆地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、調査したり資料で調べたりして白地図にまとめたり、市の様子を大まかに理解する。		<p>(1)具体的な体験を伴う学習の場を設け、社会的事象を具体的、実感的に捉えることができるようにする。</p> <p>(2)地域の施設を活用したり地域の人と直接関わって学んだりする機会を設定する。</p> <p>(3)学校図書館やタブレット端末、地図帳を活用して、情報の収集やまとめなどを行うようにする。</p>
6 7 9 10	2 はたらく人とわたしたちの暮らし	28	○工場の仕事 店ではたらく人 ◆地域で見られる工場や販売の仕事について、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに注目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、仕事が、地域の人の生活と密接な関わりをもち、かつ工夫して行われていることを理解する。		
11 12 1	3 暮らしを守る	16	○火事から暮らしを守る 事故や事件から暮らしを守る ◆火災や事件、事故から地域の人の安全を守る働きについて、施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して見学・調査したり調べたりすることを通して、消防署や警察などの関係機関は、地域の安全を守るために相互に連携して対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人と協力して火災や事故の防止に努めていることを理解する。		
2 3	4 市のうつりかわり	12.5	○市の様子と人々の暮らしのうつりかわり ◆市の様子の変り変わりについて、交通や公共施設、土地利用や人工、生活の道具などの時期による違いに着目して、資料で調べることを通して人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現することを通して、市や人々の生活の様子は、時間の経過にともない移り変わってきたことを理解する。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門)年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名		準ずる教育課程	
教科等名	算数		学習グループ名		小⑧		
目標・ねらい	<p>(1)数の表し方、整数の計算の意味と性質、少数及び分数の意味と表し方、基本的な図形の概念、量の概念、棒グラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数などの計算をしたり、図形を構成したり、長さや重さなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり適切に判断したりする力などを養う。</p> <p>(3)数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>						
担当教職員 *学校介護職員	三好亮子						
年間授業時数	175 単位時間						
使用教科書	わくわく算数3 上・下 啓林館						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導上の留意点及び工夫	
4	算数のとびら(算数の学習の進め方)	1	○100を単位にした何百のたし算・ひき算 ノートのかき方 ◆100を単位とする数の加法・減法について相対的な見方にもとづく加法・減法の理解を深める。			<p>(1)具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考えたり説明したりする活動を取り入れる。</p> <p>(2)数量や図形についての感覚を養えるよう、タブレット端末を活用して繰り返し学習したり、図形の特徴を確認したりする。</p> <p>(3)具体物进行操作したり日常の事象を観察したり、身近な算数の問題を解決したりする体験を積み重ねる。</p>	
	1 九九の表とかけ算	5	○九九の表の性質 10、0のかけ算 □にあてはまる数のみつけ方 ◆10や0のかけ算の意味や計算の仕方を考えたり説明したりして、かけ算の理解を深める。				
	2 わり算	10	○1人分の数をもとめる計算 分けられる人数をもとめる計算 2つの分け方 練習 わり算を使った問題 答えが九九にないわり算 学びのまとめ ◆わり算の計算の意味や仕方を考えたり説明したりして、わり算の意味やよさを理解する。				
	見方・考え方を深めよう「あれ? たくさんいたのに…」	2	○加法と減法の順思考と逆思考を組み合わせた問題 ◆数量の関係を図に表して、減減の場面のはじめの数を求めることができる。				
5	3 たし算とひき算の筆算	10	○たし算の筆算 ひき算の筆算 練習 4けたの数の筆算 計算のくふう 学びのまとめ ◆(3位数)±(3位数)、簡単な(4位数)±(4位数)のを、繰り上がりや繰り下がりに気をつけて正しく筆算で計算できる。				
	4 時こくと時間	6	○一定時間後の時刻の求め方 時刻間の時間の求め方 ○秒の定義 「時」と「分」と「秒」の関係 学びのまとめ ◆時刻と時間について、秒の意味を理解し、時刻と時間についての理解を深める。				
	5 一万をこえる数	15	○万の位 10倍した数、10でわった数 練習 学びのまとめ ◆一万をこえる数の仕組みを考察して、数の大きさや十進位取り記数法についての理解を深める。				
6	6 表とグラフ	10	○整理のしかた 整理のしかたのくふう 表やグラフを組み合わせて 学びのまとめ ◆表や棒グラフを用いたデータの分類・整理の仕方を理解し、事象の特徴を説明して、統計的に問題解決する素地を育む。				
	7 たし算とひき算	5	○(2位数)+(2位数)で答えが2位数、3位数の暗算 100、(2位数)-(2位数)の暗算 ◆(2位数)±(2位数)の計算を、繰り上がりや繰り下がりに着目して計算の仕方を考え、暗算で計算できる。				
	どんな計算になるのかな	2	○加法と減法の順思考と逆思考を組み合わせた問題 ◆根拠にもとづいて、かけ算やわり算の演算決定をすることができる。				
	算数の自由研究	2	○算数の自由研究 ◆「迷路づくり」などの自由研究に取り組み、見通しをもって考える力や粘り強く取り組み態度を伸ばす。				
7	8 長さ	7	○単位kmの意味、1km=1000m 長さの加減計算 ◆長さについて、巻尺の使い方やkmの単位を理解し、長さの測定や計算、単位を適切に用いて表現することができる。				
	9 あまりのあるわり算	10	○あまりのあるわり算のしかた 練習 あまりを考えて 学びのまとめ ◆余りのあるわり算の、余りの意味や計算の仕方を理解し、場面に応じた余りを処理ができる。				
	10 重さ	8	○重さの表し方 たんいの関係 ◆ものの重さについて、比べ方や普遍単位の必要性を理解し、単位を適切に用いて表現する。				
10	11 円と球	8	○円の作図、円の定義 コンパスを使った活動 ◆円や球について、作図する活動や観察する活動を通して、円や球について理解する。				
	12 何倍でしょう	6	○何倍かをもとめる もとにする大きさをもとめる 何倍になるかを考えて ◆数量の倍関係について、乗除の適用場面や数量関係の理解を深める。				

11	13 計算のじゅんじょ	2	○乗法の結合法則、 $a \times b \times c = a \times (b \times c)$ ◆表や棒グラフを用いたデータの分類・整理の仕方を理解し、統計的問題解決の素地を育む。	<p>(1) 具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考えたり説明したりする活動を取り入れる。</p> <p>(2) 数量や図形についての感覚を養えるよう、タブレット端末を活用して繰り返し学習したり、図形の特徴を確認したりする。</p> <p>(3) 具体物を操作したり日常の事象を観察したり、身近な算数の問題を解決したりする体験を積み重ねる。</p>
	14 1けたをかけるかけ算の筆算	12	○何十・何百のかけ算 (2けた) × (1けた) の筆算 練習 (3けた) × (1けた) の筆算 暗算 ◆1けたをかけるかけ算の筆算の仕方を考え、(2、3位数) × (1位数) の計算の筆算や簡単な(2位数) × (1位数) の計算の暗算ができる。	
	15 式と計算	3	○加減と乗法の分配法則 ◆加減乗法混合の式や計算を()を使って1つの式に表したり計算の仕方を考えたり、分配法則について理解する。	
	16 分数	10	○あまりの大きさの表し方 分数の大きさ 分数のたし算・ひき算 練習 学びのまとめ ◆分数について、意味や表し方を理解し、数直線に表したりたし算やひき算の仕方を考えて、分数についての理解を深める。	
	12 間の数	2	○順序数の思考法 植木算の思考法 ◆1列に並んだものの数とその間隔との関係を、図を使って考えることができる。	
1	わくわくプログラミング	1	○前進・回転・くり返しによるプログラミング ◆レーシングカーを動かすプログラムをつくる活動を通して、基本的なプログラミングの考え方を理解する。	
	17 三角形	8	○二等辺三角形と正三角形 角 学びのまとめ ◆二等辺三角形や正三角形について、辺に着目して意味を理解し、作図の仕方や角の大きさを考えて、三角形についての理解を深める。	
	18 小数	11	○あまりの大きさの表し方 小数の大きさ 小数のたし算・ひき算 学びのまとめ ◆小数について、意味や表し方を理解し、数直線に表したり、たし算やひき算の仕方を考えて、小数についての理解を深める。	
	2 19 2けたをかけるかけ算の筆算	6	○何十をかけるかけ算 (2けた) × (2けた) の筆算 (3けた) × (2けた) の筆算 学びのまとめ ◆2けたをかけるかけ算の筆算について、(2、3位数) × (2位数) の計算の筆算ができる。	
3 20 口を使った式	4	○口を使った式の立式(加法、減法) 乗法、除法の場面での、口を使った式の立式と求答 問題文と図と式の関連づけ ◆わからない数を口として式に表せることを理解し、あてはまる数の求め方を考えたり説明したりして、数量の関係や計算の相互関係について理解を深める。		
3	そろばん	4	○そろばんを用いた数の表し方を理解し、簡単な加減の計算 ◆そろばんについて、そろばんを用いた数の表し方を理解し、簡単な加減の計算を通して、そろばんの構造やよさに気づくとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	
3	買えますか? 買えませんか?	1	○見積り素地 ◆1つが100円玉何枚で買えるか買えないかの判断をもとに、いくつかの品物が何百円で買えるか買えないかを判断し説明することができる。	
1	わくわくSDGs「食べものをたいせつにしようプロジェクト」	1	○集めたデータを活用した問題の発見と解決 ◆食品ロスについて話し合い、与えられたデータから1人あたりの食品ロスを求めることができる。 ○調べた結果から、これから自分たちにもできることを話し合う。	
2	もうすぐ4年生	3	○3年生の学習内容の確認と持続	

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	理科		学習グループ名		小⑧
目標・ねらい	自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を迫る活動を通して、物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質及び電気の回路、身の回りの生物、太陽と地面の様子についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるとともに、問題解決の力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	三好亮子				
年間授業時数	95 単位時間				
使用教科書	新編 新しい理科3学年 東京書籍				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	春の生き物	7	○生き物のすがた ◆身の回りの生き物を探る中で、様子を比較しながら生き物のすがたを調べる活動を通して、それらに対する理解を図り観察に関する技能を身に付けるとともに、差異点や共通点を基に問題を見だし、解決しようとする。		<p>(1) 自然の事物・現象から問題を見だし、根拠のある予想や仮説を着想したり、それを基に解決の方法を考えたりできるように促す。</p> <p>(2) 直接体験が難しい現象では、デジタル教材を活用する。また、タブレット端末を利用して記録や振り返りを行う。</p> <p>(3) 日常生活や他教科との関連を図った学習活動や目的を設定し、主体的に問題解決の活動を進めることができるようにする。</p>
5	たねまき チョウのかんさつ	6	○たねをまこう ◆植物やチョウを育てる中で、成長の過程や体のつくりを比較しながら、成長のまきまりや体のつくりを調べる活動を通して、それらに対する理解を図り観察などに関する技能を身に付けるとともに、差異点や共通点を基に問題を見だし解決しようとする。		
6	風やゴムのはたらき	6	○風のはたらき ○ゴムのはたらき ◆風とゴムの力と物の動く様子を比較しながら、風とゴムの力の働きを調べる活動を通して、それらに対する理解を図り実験などに関する技能を身に付けるとともに、差異点や共通点を基に問題を見だし解決しようとする。		
7	どれくらい育ったかな 花がさいたよ 実ができたよ (5~9月:植物の成長に合わせて)	13	○植物の育ち方とからだのつくり ◆植物を育てる中で、成長の過程や体のつくりを比較しながら、成長のまきまりや体のつくりを調べる活動を通して、観察などに関する技能を身に付けるとともに、差異点や共通点を基に問題を見だし解決しようとする。		
9	こん虫のかんさつ	7	○こん虫などのすみか ○こん虫のからだ ○こん虫の育ち方 ◆昆虫が生息している周辺の環境や成長の過程、体のつくりに着目して、それらを比較したり調べたりする活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、差異点や共通点を基に問題を見だし解決しようとする。		
10	太陽とかげ	10	○太陽とかげのようす ○日なたと日かげの地面 ◆日なたと日陰の様子に着目して、継続的に観察、比較しながら、日陰の位置と太陽の位置の変化、地面のあたたかさ、湿り気の違いを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、差異点や共通点を基に問題を見だし解決しようとする。		
11	太陽の光 音のせいしつ	10	○はね返した日光 ○集めた日光 ◆光を当てたときの明るさやあたたかさに着目して、光の強さを変えたときの違いを比較しながら、反射や集光、当て方と明るさやあたたかさを調べる活動を通して、それらにの理解を図り、実験などに関する技能を身に付けるとともに、差異点や共通点を基に問題を見だし解決しようとする。 ○音が出るとき ○音のつたわり ◆音を出したときの震え方に着目して、音の大きさを変えたときの現象の違いを比較しながら、音の性質について調べる活動を通して、それらにの理解を図り、実験などに関する技能を身に付けるとともに、差異点や共通点を基に問題を見だし解決しようとする。		
12	物の重さ	9	○物の形と重さ ○物による重さのちがい ◆物の形や体積に着目して、重さを比較しながら、物の形や体積と重さを調べる活動を通して、それらにの理解を図り、実験などに関する技能を身に付けるとともに、差異点や共通点を基に問題を見だし解決しようとする。		

1	電気の通り道	9	<p>○明かりがつくつなぎ方 ○電気を通す物と通さない物</p> <p>◆乾電池と豆電球などのつなぎ方と乾電池につないだ物の様子に着目して、電気を通すときと通さないときのつなぎ方を比較しながら、電気の回路について調べる活動を通して、それらにの理解を図り、実験などに関する技能を身に付けるとともに、差異点や共通点を基に問題を見いだし解決しようとする。</p>	<p>(1) 自然の事物・現象から問題を見いだし、根拠のある予想や仮説を発想したり、それを基に解決の方法を考えたりできるよう促す。</p> <p>(2) 直接体験が難しい現象では、デジタル教材を活用する。また、タブレット端末を利用して記録や振り返りを行う。</p> <p>(3) 日常生活や他教科との関連を図った学習活動や目的を設定し、主体的に問題解決の活動を進めることができるようにする。</p>
2	じしゃくのせいしつ	10	<p>○じしゃくにつく物 ○極のせいしつ ○じしゃくにつけた鉄</p> <p>◆磁石を身の回りの物に近付けたときの様子に着目して、それらを比較しながら、磁石の性質について調べる活動を通して、それらにの理解を図り、実験などに関する技能を身に付けるとともに、差異点や共通点を基に問題を見いだし解決しようとする。</p>	
3	つくってあそぼう	8	<p>○おもちゃ作り ○作って遊ぼう</p> <p>◆既習の内容を活用してものづくりを行う活動を通して、ものづくりに関する技能を身に付けるとともに、目的の物を完成させるための方法を発想する。</p>	

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	3年	教育課程名		準ずる教育課程	
教科等名	音楽			学習グループ名		小⑧	
目標・ねらい	(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3) 進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。						
担当教職員 *学校介護職員	三好亮子						
年間授業時数	60.5 単位時間						
使用教科書	小学生の音楽3 (教育芸術社)						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導上の留意点及び工夫	
4	音楽で 心をつなげよう	6	○曲想を感じ取って表現を工夫し歌う。 ◆自然で無理のない声で歌ったり友達とリズムをつなげて演奏したりする技能を身に付ける。			(1) 音楽によって喚起されたイメージや感情、想像したことなどを伝え合ったり共感しあったりするなど、言語活動を取り入れる。 (2) キーボードの運指やオーケストラの演奏をデジタルコンテンツなどで視聴するなど、音楽の理解を深められるようタブレット端末を活用する。 (3) 音楽を特徴付けている要素(音色、リズムなど)と音楽の仕組み(反復など)の特徴がよく表れている楽曲を選択する。	
5	歌って 音の高さを かんじとろう	4	○楽譜を見ながら階名視唱し、楽譜に親しみながら演奏をする。 ◆ハ長調の楽譜を見て演奏したり呼吸や発音の仕方に気を付けて歌ったりする技能を身に付ける。				
6	リコーダーの ひびきに 親しもう	8.5	○リコーダーの運指を練習し、演奏する。 ◆リコーダーを演奏する技能を身に付ける。				
7 9	拍にのって リズムを かんじとろう	9	○拍を感じ取りながら歌ったり演奏したりする。 ◆拍にのって表現する技能や、反復や変化を用いてまとまりのあるリズムをつくる技能を身に付ける。				
10	せんりつの とくちょうを かんじとろう	7	○拍子にのり、音の上がり下がりを感じ取りながら歌ったり演奏する。 ◆声の強さや出し方を工夫したりフレーズを意識したりしながら、どのように表現するか思いや意図をもつ。				
11	せんりつの 重なりを かんじとろう	6	○重なり合う音の響きを感じ取りながら合奏したり、歌ったりする。 ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や楽器の音、副次的な旋律、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。				
12	いろいろな 音のひびきに 親しもう	9	○拍にのり、主な旋律と副次的な旋律を演奏する。 ◆楽器の音色の特徴を生かして互いの音を聴き合いながら演奏したり、楽器の組み合わせや音の重ね方を生かして音楽をつくったりする技能を身に付ける。				
1	ちいきに つたわる音楽で つながろう	5	○歌唱に挑戦し、お囃子のリズムに親しむ。 ◆日本の楽器の音色やリズムなどの特徴が生み出す曲や演奏のよさなどを見だしながら祭り囃子を聴いたり、旋律の音の動きや始め・終わりの音に着目した旋律のつくり方について思いや意図をもったりする。				
2 3	思いを音楽で 表そう	6	○重なり合う音の響きに気を付けて、合奏を工夫する。 ◆旋律の重なりや特徴、強弱、フレーズなどと曲想との関わりについて気付き、それらを生かした歌い方や演奏の仕方の技能を身に付ける。				

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	図画工作		学習グループ名	小⑧	
目標・ねらい	<p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行爲を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や関し方を広げたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。</p>				
担当教職員 * 学校介護職員	三好亮子				
年間授業時数	68 単位時間				
使用教科書	図画工作3・4 上できたらいいな 下力を合わせて 開隆堂				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	絵の具と水のハーモニー	12	○筆、パレット、筆洗の使い方を知って、水の量を工夫して絵を描く。		<p>(1) 自分に適した表現方法や材料、用具などを選ぶことができるようにし、自分の思いで活動を進めることができるようにする。</p> <p>(2) 形や色を見付けたり触ったりする活動の時間を十分に確保し、対象に働きかけている様子を共感的に受け止める。</p> <p>(3) 思いついたことや表したいと思っていること、活動を通して感じ取ったこと、表し方の面白さ、材料の感じなどを言語化する機会を設ける。</p>
5			◆絵の具に混ぜる水の量を変えて、描き方を工夫する。 ◆描き方を試しながら、表したことを考える。 ◆描き方を試しながら、絵の具で描くことを楽しむ。		
6	光サンドイッチ	15	○色セロハンなどをトレーシングペーパーではさみ、光を通すときれいな飾りをつくる。		
7			◆光を通す材料の形や色の組み合わせを工夫する。 ◆光を通した材料からつくりたい飾りを考える。 ◆光にかざしたときの材料の美しさをたのしむ。		
9	ためしてあそんでマグネット	10	○磁石と身近な材料で、磁石の働きを生かしたおもちゃをつくる。		
10			◆動きの感じに合わせて、形や色を工夫する。 ◆動きを試しながらつくりたいものを見つける。 ◆磁石の力を感じて、たのしみながらつくる。		
11	こぎりザクザク つないでつけて	16	○角材をたくさんのごぎりで切り、木片を組み合わせてつくりたいものをつくる。		
12			◆のごぎりの使い方を知り、木切れの組み合わせ方を工夫する。 ◆木切れを組み合せながら、つくりたいものを考える。 ◆のごぎりで角材を切ったり、木切れを組み合せたりすることをたのしむ。		
1	未来にタイムスリップ	15	○場面にあった表し方を工夫する。		
2			○夢をかなえた場面を考える。 ○自分の夢を表すことを楽しむ。 ◆将来自分がなりたい夢を想像して絵に表すことができる。		
3					

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	体育		学習グループ名	小⑧	
目標・ねらい	<p>(1) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見つけ、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とも仲良く運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。</p>				
担当教職員 *学校介護職員	三好亮子				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書					
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	運動会に向けて	7	○走の運動 ○ボールの投球 ◆車いす操作や投球の基本的な動きを知り、運動遊びに取り組む中で、動きを工夫しようとする。		<p>(1) 個々の児童の運動経験や技能の程度に合わせた個別の課題を用意する。</p> <p>(2) 運動の工夫を発表したり、話し合ったりする言語活動の場を用意する。</p> <p>(3) タブレット端末を活用して運動を記録し、自分の運動を振り返られるようにする。</p>
5					
6	ポッチャ遊び	3	○ポッチャを基にしたボールゲーム ◆ゲームのルールを理解し、楽しみながら運動するとともに、運動を工夫しようとする。		
7	水泳	6	○水泳 ◆教職員の支援を受けたり浮き具を利用しながら、水遊びを楽しんだり、潜ったり浮いたりする。		
9					
10	器械・器具を使つての運動遊び	9	○サーキット遊び ◆遊具を使った運動を楽しみながら、安全に注意し、様々な動きに挑戦する。		
11					
12					
1	集団ゲーム	10	○鬼遊び ◆ルールを守り、安全に気を付けながら、追いかける、逃げるといった運動をする。		
2					
3					
通年	準備運動 5分間走	35	○準備運動 ○5分間走 ◆身体の部位を意識しながらストレッチなどの運動をする。 ◆安全に気を付けながら車いす操作をする。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	道徳		学習グループ名	小⑧	
目標・ねらい	(1)よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 (2) (3)				
担当教職員 *学校介護職員	三好亮子				
年間授業時数	単位時間				
使用教科書	小学どうとく ゆたかな心 3年 光文書院				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	友だちになる (友だち屋)	3	○本当の友達について考える。 ◆お互いを理解し大切にすることをもち、よりよい友人関係を育てる。		(1) 学習する内容をどのように受け止めるかを予想して、提示方法や具体的な発問を用意する。 (2) ゲストティーチャーを招いたり、疑似体験や映像メディアを取り入れたりするなど、多様な教材を組み合わせた活動を用意する。
5	きまりを生むもの (心の優先席)	3	○「心の優先席」を読んで、きまりを守ることのよさを考える。 ○みんなが気持ちよく過ごすためのきまりと、それを守ろうとすることのよさについてまとめる。 ◆約束や社会のきまりの意義を理解し、それを守ろうとする。		
6	うけつがれてきたものを大切に (キツネおどり)	3	○「キツネおどり」を読み、伝統や文化を守る大切さを考え、自分たちの住む地域のよさについて、改めて見直して話し合う。 ◆郷土の伝統や文化を大切に、郷土の伝統行事に親しむ。		
7	自分のよさをみがく (世界一うつくしい体操)	3	○「世界一うつくしい体操をめざして -内村航平-」を読み、自分のよさを磨くことの大切さについて考える。 ◆自分自身のよさを理解し、それを磨いて伸ばしていこうとする。		
9	いつもきちんと(太郎のいどう教室)	3	○「太郎のいどう教室」を読み、節度ある生活のよさがわかる。 ◆自分でできることは自分でやり、よく考えて節度のある生活をしようとする。		
10	家族への思いやり (おかあさん、かぜでねこむ -ちびまる子ちゃん-)	3	○自分の家族について考える。 ○「おかあさん、かぜでねこむ -ちびまる子ちゃん-」を読み、家族のよさについて考える。 ◆家族に感謝し、家族のためにできることを進んでしようとする。		
11	どうすることが正しいか (思い切って言ったらどうなるの?)	3	○正しいと思うことでも、できないときはどんなときか想起する。 ○「思い切って言ったらどうなるの?」を読み、正しいと思ったことを実行する大切さについて話し合う。 ◆相手がだれであっても正しいと思ったことは、自信をもって実行していこうとする。		
12	マナーに心をこめて(マナーをまもるのはなぜ?)	3	○「マナーをまもるのはなぜ?」を読み、礼儀について考える。 ○自分の食事の仕方を振り返る。 ◆礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接し、互いに気持ちよく生活しようとする。		
1	心うごいたことに夢中で(紙の中の映画 -手塚治虫-)	3	○「紙の中の映画 -手塚治虫-」を読み、手塚治虫が、紙の中の映画を作ることができた理由について話し合い、手塚治虫の言葉から学習して考えたことをまとめる。 ◆自分の好きなことに気づき、そのことに夢中で取り組み、個性を伸ばし、自分らしく生きていこうとする。		
2	やくそくを まもる (やくそくだもん)	4	○約束を守るよさについて話し合う。 ◆約束の意義が分かり、それを守って生活していこうとする。		
3	ほかの国のことを考える (海をわたるランドセル)	4	○海をわたるランドセル」を読み、国際理解と国際親善の大切さについて考える。 ○世界の国々に住む子どもたちの生活について、考えたことをまとめる。 ◆他国の人々の生活や文化を理解し、大切にしていこうとする。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	外国語活動		学習グループ名		小⑧
目標・ねらい	(1) 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。 (2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。 (3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。				
担当教職員 * 学校介護職員	三好亮子				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	Let's try 1				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	Hello! あいさつをして友達になろう	2	○映像資料を視聴し、世界には様々な言語があることを知る。 ◆名前を言って挨拶をし合う。		(1) 外来語などの聞いたことのある表現や身近な内容を活用し、身近なコミュニケーションの場面で、英語でのコミュニケーションを体験できるようにする。 (2) ジェスチャーや表情を活用し、コミュニケーションを図る楽しさを体験できるようなゲーム的活動を用意する。 (3) 視覚教材やデジタル教材を活用し、興味・関心を高める。
5	How are you? ごきげんいかが?	4	○表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をし合う。 ◆表情やジェスチャーの大切さと共に、表す意味の違いに気づき、感情や状態を表す語や表現に慣れ親しむ。		
6	How many? 数えてあそぼう	4	○数について尋ねたり数えたりして伝え合う。 ◆日本と外国の数の数え方の違いから、多様な考え方があることに気づき、1~20までの数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。		
7	I like blue. すきなものをつたえよう	5	○相手に伝わるように工夫しながら、自分の好みを紹介する。 ◆多彩な考え方があることや、音声やリズムについて外来語を通して日本語と英語の違いに気付く、色の言い方や好みを表したり好きかどうかをたずねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。		
9	What do you like? 何が好き?	4	○相手に伝わるように工夫しながら何が好きかを尋ねたり答えたりする。 ◆身の回りのものの言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。		
10					
11	ALPHABET アルファベットとなかよし	4	○自分の姓名の頭文字を伝えようとする。 ◆活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。		
12					
1	This is for me. カードをおくろう	4	○相手に伝わるように工夫しながら自分の作品を紹介しようとする。 ◆形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。		
2	What's this? これなあに?	5	○クイズを出したり答えたりしようとする。 ◆外来語とそれが由来する英語の違いに気付く。		
3	Who are you? きみはだれ?	3	○相手に伝わるように台詞をまねて言う。 ◆絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容がわかる。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	総合的な学習の時間		学習グループ名	小⑧	
目標・ねらい	(1) 探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解できるようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	三好 亮子				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	ロボットを使った、色々なゲームを考えて、遊ぼう。(プログラミング学習)	20	○ロボットの操作やプログラミングの仕方を覚える。 ○人形を使ったショートムービーを考える。 ○友達と協力したり、競ったりすることを楽しむ。 ◆ものごとを順序立てて考える力を身に付ける。友達のことを考えて工夫することができる。		
5					
6					
7					
9	社会見学事前学習	30	○何について調べるか選択する。 ○調べることに決めたものについて、本やICT機器を使って調べる。 ◆見学先について主体的に調べることができる。 ○身の回りのSDGsについてしり、自分にできることを考える。世界のSDGsの取り組みについて知り、日本や身近なこととの違いについて考える。 ◆身近なSDGsの取り組みについて考える。		(1) 調べ学習や調理実習においては、児童にとって目的意識をもてるような働き掛けや授業計画を立てる。 (2) 題材に応じて、各教科、外国語活動および特別活動との関連を考慮しながら指導を行う。 (3) ICT機器を活用する。
10					
11					
12					
1	卒業進級を祝う会をしよう	20	○卒業進級を祝う会の企画、運営 ◆一年間の成長を振り返り、学習の集大成とする会を自分たちで企画運営し、主体性や計画性を養う。		
2					
3					

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名	
教科等名	特別活動		学習グループ名		
目標・ねらい	(1) 普段とは違う集団の中で、活動に気持ちを向けて参加する。 (2) 行事に興味をもって、期待感や見通しをもつ。 (3) 簡単なルールを理解して、集団活動に参加する。				
担当教職員 *学校介護職員	岡名 沙輝 巖 真依子 石澤 恵 高橋 裕里子 米沢 純子 藤塚 あかり 三好 亮子 島田 久美子 *大前 比佐子 *中島 亮子 *播磨 朋子 *大和田 智里 矢野 祐子				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書					
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	仲良くなろう	3	○自己紹介、ゲーム活動 ◆集団活動を通して、教職員や友達とやりとりをする。		・安心して活動に参加できるように、わかりやすい言葉掛けや共感的な関わりをする。 ・行事で使う歌や写真等を事前学習で使って、期待感や見通しをもてるようにする。
5	運動会の準備をしよう	2	○運動会の種目練習、種目発表 ◆行事に興味をもって、期待感や見通しをもって参加する。		
6	学年の時間	3	○レクリエーション、製作など ◆簡単なルールを理解して、活動に参加する。 ◆普段とは違う集団で、活動に気持ちを向けて参加する。		
7		2			
9	墨東祭の準備をしよう	4	○墨東祭の事前学習 ◆行事に興味をもって、期待感や見通しをもって参加する。		
10		4			
11		5			
12	墨東祭の準備をしよう 墨東祭の振り返りをしよう	2	○墨東祭の事前、事後学習 ◆行事に興味をもって、期待感や見通しをもって参加する。		
1	学年の時間	3	○レクリエーション、製作など ◆簡単なルールを理解して、活動に参加する。 ◆普段とは違う集団で、活動に気持ちを向けて参加する。		
2		4			
3		3			

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	小学部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	自立活動		学習グループ名		小⑧
目標・ねらい	(1)障害による学習上、生活上の困難を改善する。 (2)いろいろな姿勢や動作を経験することで、自分自身の身体とその動きを感じ、受け入れる力をつける。 (3)ストレッチなど、変形や拘縮の予防につながる活動を進んで行う。				
担当教職員 *学校介護職員	三好亮子				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
通年	身体を取組 コミュニケーション	70	○ストレッチ ○姿勢変換(臥位から座位へ、寝返り、車いすから床への移乗、床から車いすへの移乗など) ○姿勢保持(座位、膝立ち、立位など) ○歩行練習 ○手指の操作性を高める取組 ○視機能を高める取組 ○コミュニケーションゲーム ◆身体を取組や健康に関することなどに取り組み、日常生活に生かす ◆正しいコミュニケーションを学び、実践する力をつける。		・身体を取組を行う際には適切な指導を行えるよう、個々の身体の状態を細かく把握し、共有する。 ・日々の生活において自分自身で行えるような活動を外部専門員と相談し、決定する。 ・正しいコミュニケーションの方法や言葉遣いの例示を行う。